

広報させほ 情報カレンダー 03. 7月



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 中小企業金融 公庫出張	3	4	5
6	7	8	9	10 夏の交通安全県 民運動～19日	11 発明相談	12
13 市民大清掃及 び空き缶回収 キャンペーン	14	15	16 市立総合病院 の健康教室	17	18	19 「社会を明るくす る運動」中学・高 校生弁論大会
20 おさかな奇想天 外展～9月23日 100年の森育樹 祭	21 海の日 ビーチクリーン アップ	22	23	24 させほ男女共同 参画セミナー「ナ ンダイ(難題) ジェンダー」	25 子どもの食につ いての講演会	26
27	28	29	30	31		
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、 佐世保商工会議所)				●8月の主な行事予定 8/1 人権・同和問題啓発講演会		
毎月第2金曜 発明相談 (10時～15時30分、市役所10階)						

**テレホンガイド**

- 救急・火災
  - 医療機関案内…………… ☎23-8199
  - 火災情報…………… ☎0180-999-999
- 女性相談
  - スピカ…………… ☎24-6180  
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)
- 教育相談
  - 青少年教育センター…………… ☎22-0077  
(毎月第2、4木曜の17時30分～  
20時30分には、夜間相談も受け付けます)
- エイズ相談
  - 保健所健康づくり課  
…………… ☎0120-104-783
- 7月の健康テレホン
  - 県保険医協会…………… ☎23-4300  
※3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月→老人の夏の生活注意 火→腱鞘炎  
水→プール熱 木→紫外線による皮膚障害  
①腫瘍性以外のもの 金→妊娠中の歯科治療は大丈夫? 土、日→切迫流産

人のうごき (6月1日現在)

総人口 240,255人 (-45)  
男 113,059人 (-34)  
女 127,196人 (-11)  
世帯数 93,271世帯 (+14)

5月中のうごき

●転入 625 ●転出 696  
●出生 217 ●死亡 191

見て、聞く  
させほ  
市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC (9時25分) NIB (11時25分)  
NCC (11時40分) KTN (17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時10分  
FM長崎 毎週火曜日 9時05分  
FM長崎  
マイシティ  
マイタウン 毎週土曜日 8時55分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です

観光客数が過去最高に

市制施行百周年も終わり、新しい一歩を踏み出しました。昨年1年間のさまざまな記念イベントは、不況の世の中であって本市に大きな経済波及効果をもたらしました。

その指標の一つは、本市を訪れた観光客の数です。これまでの1年間の観光客数の記録は平成8年の約583万人ですが、昨年は約588万人と伸びたことは特筆に値するでしょう。百周年記念イベントによる増もあるのですが、昨年の7月に就航開始した「九十九島遊覧船パールクイーン」の好評もあって、西海パールシーリゾートだけで前年より30%増加し、約114万人の観光客が訪れました。第3セクターとして運営している会社が、ことし5%の利益配当をするというのうれしい限りです。

さてことしは、「長崎ゆめ総体」が県下各地で開催されます。佐世保市にも約2万人の選手、応援団が来訪します。若い高校生諸君が街にあふれる。そんな光景を楽しみにしています。

おもてなしの心が原点です。市民の皆さま、ことしも頑張りましょう。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 456

ここが地名の左石跡? (瀬戸越町)

左石バス停から国道204号に分かれ、相浦川左岸に沿う道は市道吉岡1号線です。この中ほど、片淵早苗さん所有の土地500平方メートルが空き地になっていて、山すそ側に長さ7メートル、高さ1.2メートルの石垣が見えます。神社やお寺によく見られる相対積みという工法で、近くでは採れない上質の安山岩が使われています。場違いなほどよく目立つのは、40年以上も隠れていたからです。



昭和30年代はかまぼこ屋さん、40年からは自動車解体業の資材置き場に使用されていて、一般の目に触れませんでした。一体何のための石垣だろう?と疑問がわきますが、これこそ地名の由来となった「左石」跡ではないでしょうか。近くの瀬戸越町に住んでいた江口憲四郎さんが87歳

だった昭和56年に話された内容はこうです。平戸藩士だった父儀太郎氏は、殿様が参勤交代するとき行列のお先棒を担いでいました。帰路地元を通るときは、道の左側に鳥居のように立っていた左石に必ず道中安全を祈願したということです。

つまり、左石はお寺や神社と同じ信仰の対象だったので、下に立派な石垣を築いたのでしょう。その後、砂岩の左石は長い歳月を重ねるうちに崩れて無くなり、根元の硬い安山岩の石垣だけが残ったと思われます。

この土地は、柚木から流れてくる相浦川が前岳の山すそに突き当たる位置で、近くの眼鏡岩同様に水の作用で奇岩が出来やすく、人々の信仰心を呼び起こしたのでしょうか。石垣の前にはカッパの証文岩があります。

(筒井隆義)

